

目標達成計画

作成日：平成 22年 7月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	NO. 10	利用者家族から出された意見に対して、出来るだけ早急に対策を講じているが、改善した結果など他の利用者へ通知していなかったことで事業所がどういう取組みをしているか伝わっていなかった部分がある。 また、意見箱はあるが定期的な(無記名)アンケートが実施できておらず、より広くの意見を伺う機会が少なかった。	アンケートの実施でより意見の言いやすい事業所となるようにする。また意見の改善策や結果について取組みを発信し、より信頼頂ける事業所となるように目指す。	利用者家族向けの無記名アンケートを年2回(1月、7月)実施し、事業所会議や運営推進会議にて検討し反映していく。(7月分はアンケート送付済み) 頂いた意見について、改善や対応した結果を、広報誌(クレール便り)等で紹介する。	6ヶ月
2	NO. 35	年2回の消防(災害)避難訓練を事業所として実施しているが、今後は地域との協働をはかっていくことが不可欠になってくる。	地域とのかかわりを強化していく。	運営推進会議を通して、避難訓練への地域住民の参加を推し進めて行く。また協力を仰ぐだけでなく、地域行事への手伝いや参加も継続して交流を行っていく。	12ヶ月
3	NO. 7、8、13	研修について、参加や報告を行い周知をはかっているが、広く周知することまで至っていない。 特に虐待防止や権利擁護に関する項目については積極的な取組みや全職員への周知が行っていない。	全職員が研修を受けられるように環境を整備する。	事業所内外の研修について、計画的な実施と参加を推進する。人数やシフトの関係で限られた参加となる場合には報告や勉強会を開催し、広く周知されるようにはかっていく。	8ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。